

メンタルヘルス科

. 特徴

当院のメンタルヘルス科は 50 床の病床をもち、主に精神神経科疾患の急性期医療を担当している。また、児童・思春期精神医療、認知症対策、総合病院精神医学、精神科リハビリテーションの充実を行っている。

. 募集人員

1 名

. 研修期間及び研修内容

研修は原則的に 3 年間

. 認定施設

日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設

. 指導医リスト

研修指導責任者：谷地森 康 二（メンタルヘルス科診療部長）

竹 内 淳 子（メンタルヘルス科診療部長）

. 研修内容

1. 研修項目

- 1) 患者及び家族との面談
- 2) 疾患の概念と病態の理解
- 3) 診断（ICD に基づく。DSM など国際的診断基準も知る）と治療計画
- 4) 補助検査法（神経学的検査、心理検査、脳波、脳画像検査など）
- 5) 薬物・身体療法
- 6) 精神療法
- 7) 心理社会的療法、精神科リハビリテーション、及び地域精神医療・保健・福祉
- 8) 精神科救急
- 9) リエゾン・コンサルテーション精神医学
- 10) 法と精神医学
（鑑定、医療法、精神保健福祉法、心身喪失者等医療観察法、成年後見制度等）
- 11) 医の倫理（人権の尊重とインフォームドコンセント）
- 12) 安全管理

2．研修目標と方法と評価

研修項目における研修目標と方法と評価は、研修ガイドライン（精神科専門医制度の研修手帳）に基づいて行う

3．各年時毎の目標

- 1年目 ・ガイドラインにおける医療人としての基本的事項を身につける
・頻度の多い代表的な疾患を理解し、加療できるようになる
・基本的な薬物療法、精神療法を身につける

- 2年目 ・ガイドラインの評価項目に基づいた、より専門的な知識、技術を身につける

- 3年目 ・自立した医師になる為の判断力を身につける

4．外来の研修プログラム

- ・毎日、新患、再来を担当する
- ・判断や方針の難しい場合は、指導医と同席した診察を行う
- ・指導医はカルテチェックを行い、研修医は連絡、報告、相談を常時行い、指導を受ける

5．入院の研修プログラム

- ・週1回、多職種でのケースカンファレンスを行う
- ・医療保護入院及び措置入院を担当する場合は、指導医が副主治医となる

6．当院で体験可能な研修プログラム

急性期治療病棟での急性期入院加療

○物忘れ外来の専門外来

○集団精神療法（発達障害の家族教室、アルコール教室）

○アウトリーチ活動（訪問診療、訪問看護）

○地域へのけいもう活動（講演、けいもう活動）

○医療観察法の指定通院患者の担当やケア会議への参加

○児童相談所や就学指導での児童の相談業務

精神科救急（全科当直及び精神科オンコール待機）

○保健所、保健センターでの相談業務（精神保健相談、もの忘れ相談）

当院の研修支援補助費を利用した学習（図書、DVD）、学会研修、研究発表活動

○緩和ケアチームへの参加

（ は必須）